



三つのペン

羽ばたけ 未来を
生きぬく田上っ子
～目標に向かって考え
高め合う子～

家庭数配付・地域回覧

TEL 0256-57-2017

FAX 0256-57-4641

E メール:hanyuda-es@edu-niigata.ed.jp

HP: <http://www.hanyudaes.tagami.ed.jp/>



【学校 HP】

「ちょっとまって」

校長 浅野 哲司

「ちょっとまって」この言葉を聞くと、私と同世代の人は、山口百恵の「プレイバック PART II」を思い出すかもしれません。しかし、この言葉、人と人との関係をつくる上で、案外役に立つ言葉なのです。

相手や自分の感情が高まってしまった時に、この言葉で冷静になれることがあります。心理学を学んできた人に言わせると、人は6秒の間があると、感情をコントロールできるといいます。この「ちょっとまって」が、気持ちを落ち着かせる「間」をつくってくれるそうなのです。

例えば子どもたちにトラブルがあり、誰かが「A さんを無視しようよ。」と言ってきたとします。間髪入れず「えっ、何で無視するの?」と言え、相手には不快感が残るかもしれません。でも「ちょっとまって」と言い、少し間を開けてから「無視しても A さんは変わらないと思うよ」「どうしたらいいかなあ?」と自分の気持ちを言えば、相手を悪い気にさせずに自分の気持ちを伝えることができます。

私も子育てをしているときに、子どもが「B さんが私の悪口を言うてくる」とか「C さんがよく叩いてくる」等、話すことがありました。私も子どもと同じ気持ちになって感情が高まることありましたが、そんなときこそ「ちょっとまって」と自分自身に言い聞かせていたように思います。話をよく聞き、少し冷静になってから子どもに助言をすると、翌日にはけろっとした顔で帰ってくるようになりました。「B さん、他に嫌なことがあったみたい。」「C が叩いてくるのをよけていたら叩かなくなったよ。」と、いつの間にか自分で解決できるようになっていました。

これまで述べてきたように、少し間をあけて心を落ち着かせることは、大人にも子どもにも共通する大切な力です。怒りや焦りのままに行動するのではなく、立ち止まる勇気をもつこと。それは自分自身を守るだけでなく、周りの人との関係も大切にすることにつながります。

学校生活では、さまざまな人との関わりが生まれます。うれしいこともあれば、悔しいこともあります。そんなときこそ「ちょっとまって」を心の合言葉にして、落ち着いて次の一步を踏み出せるよう、日々子どもたちと共に学んでいきたいと思ひます。



たてわり班活動「おりづるタイム」

体験活動等で豊かな学びを！

YOU 遊ランドで遊ぼう 1年生 6/13 (金)



生活科の学習で YOU 遊ランドに行きました。いろいろな遊具を使って思いっきり遊び、楽しい思い出をつくることができました。

さつまいもの苗植え 2年生 6/12(木)



みんなで力を合わせて畑を作り、さつまいもの苗を植えました。秋にはきっとたくさんの収穫があると期待しています。

旅館体験 3年生 5/29 (木)



旅館にて、子どもたちが入浴体験と館内見学をしました。子どもたちは熱心に記録をとったり旅館の人から話を聞いたりしていました。

竹細工作り 4年生 6/18 (水)



気に入ったデザインの台紙をもとにして、竹にドリルでたくさん穴を開けて竹の灯籠を作りました。どんな明かりが灯るか楽しみです。

自然教室 5年生 6/19(木)～6/20(金)



胎内へ行きました。カヌー体験や野外炊さんなど、日頃の生活で行えない体験を行い、力を合わせて1泊2日の教室を楽しみました。

修学旅行 6年生 6/4(水)～6/5(木)



佐渡へ行きました。たらい舟体験や佐渡金山の見学など、佐渡の歴史や文化に触れ、様々なことを学びました。

**下校の見守り
羽生田総区の皆さん**

今月、羽生田総区の皆さんによる児童下校の見守り活動が行われました。多くの方に参加いただきました。大変ありがとうございました。